



2026年2月

東武鉄道株式会社

2025年度第3四半期 決算説明会 主な質疑応答

※2026年2月4日に「2026年3月期第3四半期決算補足説明資料」を基に開催した「2025年度第3四半期 決算説明会」の質疑応答の内容です。

※本内容は、書き起こしではなく、説明会での質疑応答の内容を弊社にて簡潔にまとめたものです。あらかじめご了承ください。

Q. 中国政府による日本への渡航自粛について、ホテルやスカイツリーへの影響を教えてほしい。

A. ホテルへの影響は、他国からのお客様でカバーできると見込んでおり、限定的と見ている。ただし、今後、単価下落が起きる可能性があるので、その動向を注視していく。

また、スカイツリーについても、他国からの来訪者でカバーできると見込んでいるため、影響は限定的と見ている。

Q. 運賃改定の考え方について、中間決算時からの変更点があれば教えてほしい。

A. 中間決算時点から大きな変更点はなく、スケジュール等現段階ではお示しできないことをご理解いただきたい。

Q. 今回、増配した背景を教えてほしい。

A. 親会社株主に帰属する四半期純利益が過去最高になる見込みであり、年度計画の確度も上がったため、増配することを決定した。

Q. 現時点での今期から来期(2026年度)にかけての利益増減の見通しを教えてほしい。

A. アップサイド要因としては、新東武カード発行に係る一時的な費用が減少することによる収支改善や、スカイツリーにおける変動価格導入などである。

一方、ダウンサイドの要因としては、鉄道業における維持管理費用の増加や、百貨店業の営業環境の変化などと考えている。

以上